

エコアクション21

環境活動レポート

株式会社ウェーブクレスト宮古工場

2020年1月版

2021年2月1日発行

(活動期間 2020年1月1日から2020年12月31日)

当工場は、持続可能な循環型社会を目指して、事業活動に伴う環境への負荷を削減するため、以下の環境への取り組みを行います。

(株)ウェーブクレスト宮古工場 環境経営方針

[環境理念 ・ 行動指針]

当工場は、環境に配慮した行動と環境負荷の少ない製品づくりを継続的に取り組み、環境保護の責任を果たすとともに、顧客が満足する製品を提供できるよう品質向上を目指します。

1. 事業活動に関わる環境関連法規、条例、協定、その他の要求事項を遵守し、環境保全活動を推進します。
2. 事業活動に関わる環境を常に認識し、環境汚染の予防と環境マネジメントシステムの継続的改善を行ないます。
3. 環境における主要要因の効果的な提言・削減のために、技術的・経済的に可能な範囲で達成すべき環境目的・目標の設定と見直しを行ないます。
4. 全従業員の環境教育を充実して、環境への意識高揚と改善活動に参画できる人材を育成します。
5. 特に次の項目については重点的に取り組みます。
 - (1) 化学物質による環境汚染を予防するため、最新の物質情報の把握に努め、使用量の削減を進めます。
 - (2) 省エネルギー・省資源を積極的に進め、資源やエネルギーを効率的に利用します。
 - (3) 設備から生じる環境影響を最小限に抑えるため、設備の点検・整備・改善を継続的に実施します。
 - (4) 廃棄物による環境影響を低減するため、リサイクルを含めた廃棄物の削減に取り組みます。
 - (5) 工場敷地内の緑化と5Sを推進し、従業員の環境に対する意識を高めると共に、地域社会との融和を図ります。

平成31年1月31日
株式会社ウェーブクレスト宮古工場

工場長 佐々木 勲

1. 事業活動の概要

■ 事業所名 株式会社ウェーブクレスト 宮古工場

■ 所在地 岩手県宮古市松山6-46

■ 環境保全関係の責任者及び担当者

代表者 工場長 佐々木 勲
責任者 総務課係長 福士 豪
連絡先 TEL0193-65-0556 FAX0193-65-0566

■ 事業内容 電気・電子機器メーカーの協力工場として下記の業務を受託・生産

1. プリント基板実装
2. エレベーター・エスカレータ用ハーネス加工
3. 半導体製造装置用ハーネス加工

■ 事業の規模

活動の規模	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
売上高(百万円)	津波流出のためデータなし			116	175
従業員数(人)	津波流出のためデータなし			31	39
述べ床面積(m ²)	5,840.47	5,840.47	5,840.47	2,314.09	2,314.09
敷地床面積(m ²)	16,072.19	16,072.19	16,072.19	2,999.03	2,999.03

活動の規模	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
売上高(百万円)	226	208	251	298	307
従業員数(人)	39	39	43	44	42
述べ床面積(m ²)	2,314.09	2,314.09	2,314.09	2,314.09	2,314.09
敷地床面積(m ²)	2,999.03	2,999.03	2,999.03	2,999.03	2,999.03

活動の規模	2019年	2020年
売上高(百万円)	300	292
従業員数(人)	48	45
述べ床面積(m ²)	2,314.09	2,314.09
敷地床面積(m ²)	2,999.03	2,999.03

注1)9月末決算であるが、本レポートにおける年度は、1月より12月まで。

注2)2012年1月工場移転。

■ 認証登録の対象範囲

株式会社ウェーブクレスト宮古工場の全組織・全活動が対象

■ 本社・事業所の概要

株式会社ウェーブクレスト

代表取締役社長 坂口 正

本社・溝ノ口工場 神奈川県川崎市多摩区宿河原6-22-24
宮古工場 岩手県宮古市松山6-46
福島工場 福島県西白河郡泉崎村中核工業団地20-4
長浜工場 滋賀県長浜市西上坂町279
大阪工場 大阪府富田林市川面町2-2-43

■ 登録範囲の拡大予定等

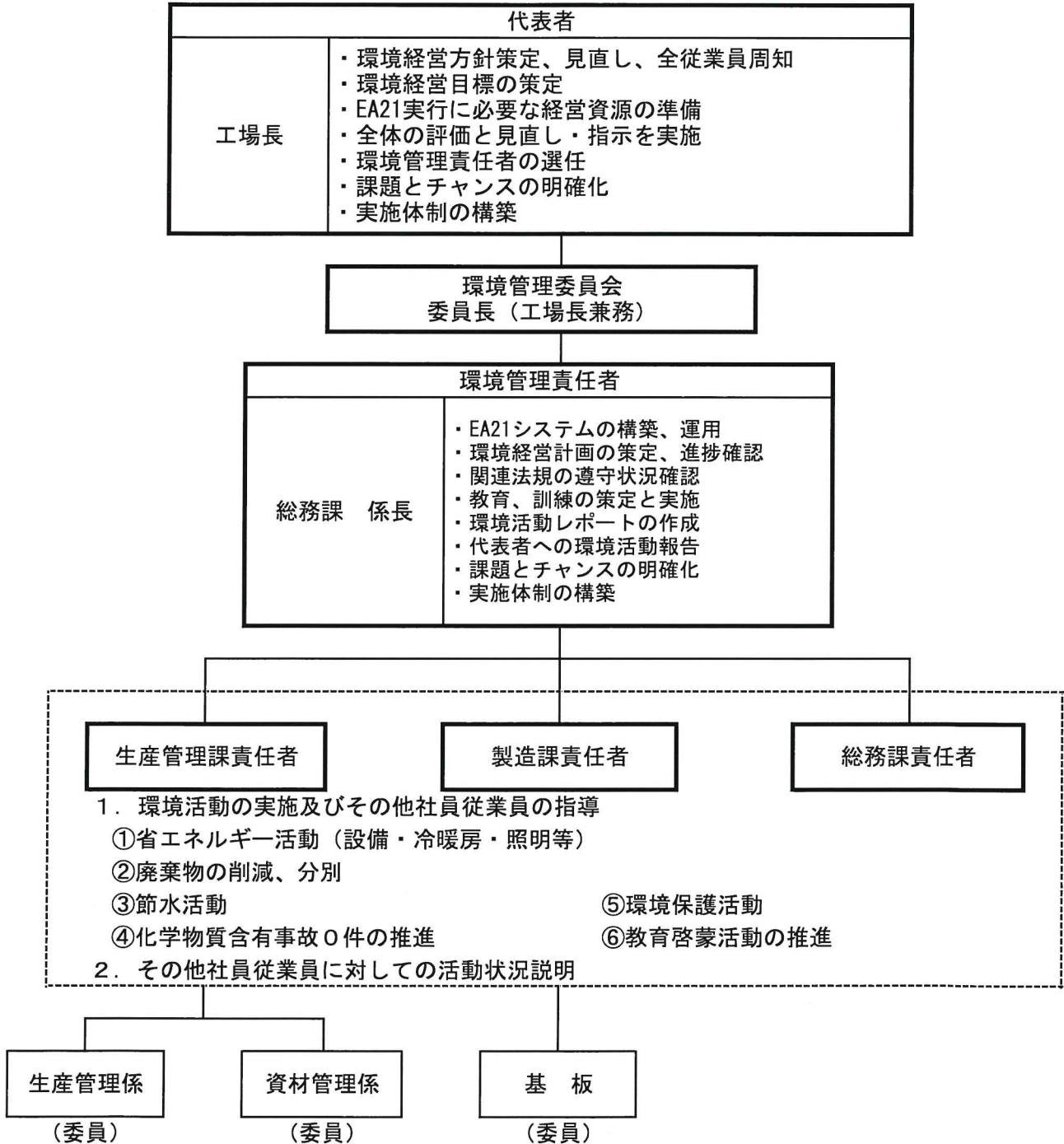
サイト認証申請中

■ 沿革

1969年 (昭和44年) 10月 (株)弘電社を東京都町田市に設立
1973年 (昭和48年) 8月 神奈川県川崎市に溝ノ口工場新設
1992年 (平成4年) 6月 岩手県宮古市に宮古工場新設
1994年 (平成6年) 5月 溝ノ口工場を改築
1995年 (平成7年) 7月 宮古工場を増築
1996年 (平成8年) 1月 英国スコットランドに(株)英国弘電社を設立
1998年 (平成10年) 12月 福島県西白河郡泉崎村に福島工場新設
1999年 (平成11年) 1月 町田工場を閉鎖、本社を溝ノ口工場に移転

2000年	(平成12年) 7月	社名を(株)ウェーブクレストに変更
2000年	(平成12年) 10月	(株)英国弘電社を閉鎖
2001年	(平成13年) 1月	タイ/アユタヤにWAVE CREST (THAILAND) LTDを設立
2002年	(平成14年) 8月	中国/上海(寧波)にNINGBO WAVE CREST CO., LTD. を設立
2002年	(平成14年) 8月	中国/香港にWAVE CREST HONG KONG CO., LTDを設立
2007年	(平成19年) 8月	滋賀県長浜市に長浜工場開設
2011年	(平成23年) 11月	大阪府南河内郡に大阪工場設立
2012年	(平成24年) 1月	岩手県宮古市松山に宮古工場移転(東日本大震災により)
2012年	(平成24年) 3月	タイ/アマタにWAVE CREST (THAILAND) LTD移転(タイ洪水被害により)

■ EA21 推進組織図



<従業員の役割>

環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。
決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加。

- * 環境管理委員会は、月1回開催とし活動報告を月1回代表者へ提出する
- * 委員会は、社員全員で構成する
- * EA21運営事務局及び環境管理委員会事務局は、総務課とする

2. 環境目標とその実績(2020年度)

【環境負荷実績】

	単位	2018年	2019年	2020年
CO2	kg-CO2	526,655.92	460,237.61	640,392.21
電力	kWh	1,000,009	932,975	1,107,945
水資源	m ³	1,091	2,773	2,331
軽油	L	2,190.4	1,529.82	954.4
産業廃棄物	kg	28,180	23,873	25,300

■ 電力使用量 2018年度(基準年)比 2%削減

活動内容

- ・生産設備の日常点検(毎日)
- ・生産設備メンテナンス(毎月末日)
- ・空調適温化確認(年3回)
- ・節電パトロール(随時)

2020年度はコロナ禍に見舞われ、製品の受注・部品の供給等イレギュラーが多発し、生産も年間通して効率良く行なうことができない年であった。

4~5月は、緊急事態宣言が発令され、一時生産がストップしたものの、9月以降は、その挽回分として、急激に生産量が増加。結果、24時間体制で生産をすることとなり、それに伴い電気量も増加することとなった。

※ 電力に関する二酸化炭素排出係数を0.000578t-CO2/kWhとする
(平成31年度テプコカスタマーサービス実排出係数)

【2020年電気使用量実績】



項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年使用量(kwh)	84,289	108,708	104,453	71,223	52,359	77,562	76,962	81,604	102,754	110,578	117,977	119,476
2018年使用量(kwh)	62,531	99,337	88,258	88,689	65,695	95,209	85,359	92,977	65,143	84,283	86,909	85,619
売上(百万円)	22.3	23.4	23.8	23.4	13.1	23.8	22.3	20.1	28.7	34.0	25.1	31.6
売上100万円当たり使用量	3,780	4,646	4,389	3,044	3,997	3,259	3,451	4,060	3,580	3,252	4,700	3,781

2020年度売上100万円あたり電力量(目標値)	3,195.8	kwh
2020年度売上100万円あたり平均電力量(実績)	3,828.0	kwh

目標との比較 19.8%

■水道使用量 現状維持(経過確認)

活動内容

・水道使用状況パトロール(随時)

・水道使用量のデータ集計

水道使用量の維持管理を行なう。

寒冷地のため、水道管破裂による水資源の損失等に注意し管理している。

【2020年水道使用量実績】

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年 使用量 (m ³)	277	234	266	229	53	77	147	164	305	230	174	175
2018年 使用量 (m ³)	47	45	54	104	50	80	93	109	106	140	124	139
売上 (百万円)	22.3	23.4	23.8	23.4	13.1	23.8	22.3	20.1	28.7	34.0	25.1	31.6
売上100万円 当たり使用量	12	10	11	10	4	3	7	8	11	7	7	6

2018年度1ヶ月あたり平均水道量(実績)	91.00	m ³
2020年度1ヶ月あたり平均水道量(実績)	194.00	m ³

目標との比較 113.2%

■軽油使用量の把握 前年度現状維持(2190.4ℓ)

運行ルート・時間等に配慮し、使用量2190.4ℓ維持を目標とし活動。

総使用量954.4ℓ。人手不足により、トラックでの納品回数が減少。

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年 使用量 (ℓ)	296.7	0.0	104.7	316.0	0.0	162.8	0.0	0.0	0.0	59.2	0.0	15.0

■産業廃棄物総排出量 2018年度(基準年)比 2%削減

活動内容

・品質状況パトロール(毎日)

・処分業者再チェック(年1回)

・徹底分別の推進

・最終処分地確認(年1回)

・再資源化の推進(運搬先・処分先含む)

【2020年産業廃棄物排出量実績】

	2020年
①廃プラ排出量(kg)	25,300
② ①内、再資源化(kg)	24,080
③廃棄物量(①-②)	1,220
売上(百万円)	292

売上100万円あたり排出量(kg)	4.2
-------------------	-----

2019年度売上100万円あたりの排出量(目標値):	18.2	kg	2020年度売上100万円あたりの排出量(実績値):	4.2	kg
----------------------------	------	----	----------------------------	-----	----

目標との比較	-76.9%
--------	--------

■製品含有化学物質管理の強化

活動内容

- ・購入品SDS等の取得(随時)
- ・ハンダ分析(3か月に1回)
- ・管理対象化学物質調査(月1回)
- ・不良率集計(月1回)
- ・グリーン購入の推進(データ管理)

昨年に引き続き、ハンダ分析を3か月に1回外部委託し、規定内であることを確認した。
 また、従業員教育は採用時または、必要に応じ随時行った。
 PRTR対象物質についても適正に管理が行われている。

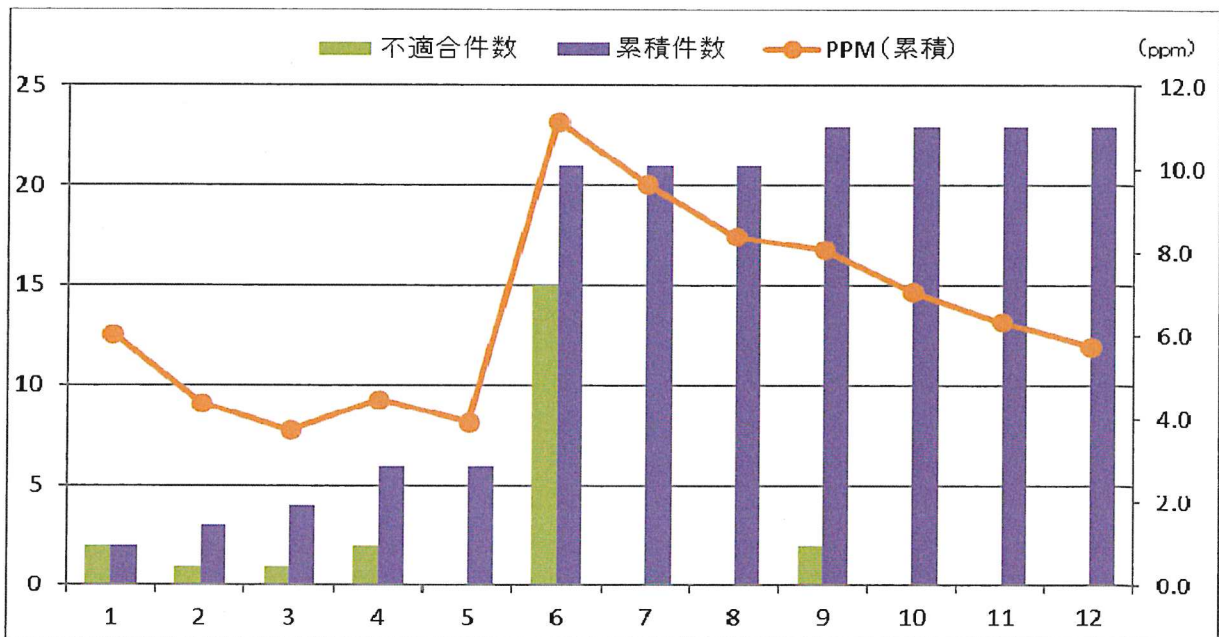
<PRTR対象物質 銀Ag系はんだの使用量>

項目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年 使用量 (kg)	3.1	5.1	3.1	2.2	1.3	2.9	2.4	3.0	3.6	3.7	4.3	2.4

■グリーン購入の推進(購入品の現状維持)

事務用品、製造以外で使用する消耗品等でグリーンマークの付いた品目を購入し、それを現状維持する。

■不良率の低減 2018年度(基準年)比 2%削減



2020年度不良率(目標値) : 22.1ppm

2020年度不良率(実績) : 5.39ppm

■社会貢献の実施

工場周辺のゴミ拾いを社員が輪番制にて実施。

■環境意識向上教育の実施

工場内の廃棄物分別処理方法の指導(分別一覧を作成し、設置)

3. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

関係当局よりの違反等の指摘はありません。

適用される環境関連法規等及び遵守状況についても、毎月開催の環境管理委員会でチェックした結果、該当する項目を下記のとおり遵守。

法規の名称	遵守事項	遵守状況
環境基本法	自然環境の適正保全・廃棄物の適正処理	○
地球温暖化対策法	事業活動により排出される温室効果ガスの抑制	○
廃棄物処理法	排出抑制、適正な分別・保管収集・運搬・再生・処分	○
浄化槽法	公共用水域に排出される、排水の基準内水質の確保	○
PRTR法	適正保管	○
労働安全法	有資格者選任による適正取扱と保管	○
消防法	有機溶剤・灯油等の適正取扱と保管	○
家電リサイクル法	廃棄家電類の適正処理	○
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検・定期点検	○

4. 取組結果の評価

■ 代表者の評価

2020年1月からコロナウィルスが流行し、同年3～5月にかけて生産受託が大幅に削減した。その影響により、雇用を確保するため、非効率的に生産活動を続けたことにより環境負荷が上昇したと考えられる。また、今年の夏は例年以上に暑く、冬は例年以上に寒かった。それらの影響に振り回された1年であった。これらのイレギュラー要素は仕方ない部分もあり、取り組み自体は、円滑に行われたと実感している。特に注力している不良率の削減については、昨年度と比較し多少増加しているものの、目標は達成している。来年度も継続して活動を行っていく。

5. 2021年活動計画

■ 次年度の取り組み内容

過去の活動目標を踏まえ、基準年比-3%の数値目標を掲げ、それぞれの項目の計画に沿って活動を推進する。

<2020年度から2021年度へ継続して取り組む内容>

1). 省エネの推進(中期目標)

活動内容

- *生産設備の日常点検(毎日)
- *生産設備メンテナンス(毎月末日)
- *空調適温化確認(年3回)
- *節電パトロール(随時)

2). 水資源投入量の把握(経過観察)

活動内容

- *水道使用状況パトロール
- *水道使用量データ集計

3). 軽油使用量の把握(使用量2190.4ℓ維持)

- *軽油補給履歴・高速道路利用履歴の確認、データ集計

4). 廃棄物の削減(中期目標)

活動内容

- *品質状況パトロール(毎日)
 - *処分業者再チェック(年1回)
 - *最終処分地確認(年1回)
 - *再資源化の推進(運搬先・処分先含む)
- 5). グリーン購入および自らが生産・販売・提供する製品およびサービスに関する項目
(目標: 製品含有化学物質管理の強化)
- 活動内容
- *購入品のSDS取得
 - *PRTR物質調査
 - *ハンダ分析
 - *グリーン購入の推進(データ管理)
 - *不良率集計
- 6). 環境保護活動(目標: 社会貢献実施、苦情"0"の継続)
- 活動内容
- *工場周辺空き缶・ゴミ拾い及び草刈

6. 3カ年中期活動計画

2018年を基準年とし、2021年度末迄3%削減を目標として推進する。

項目	2018年実績値	単位	2019年目標値	2020年目標値	2021年目標値
電力使用量	3,311	kwh/百万円	3,228.3	3,195.8	3,163.1
水道使用量	91	m ³		データ管理	
軽油使用量の把握	2,190.4	ℓ		データ管理	
廃棄物発生量	18.6	kg/百万円	18.4	18.2	18.1
定期購入品目割合	43.2	%		データ管理	
不良率の低減	24.1	ppm	23.10	22.10	21.10

項目	2018年実績値	単位	2019年実績値	2020年実績値	2021年実績値
電力使用量	3,311	kwh/百万円	3,131.0	3,828.0	
水道使用量	91	m ³	231.00	194.00	
軽油使用量の把握	2,190.4	ℓ	1,529.8	954.40	
廃棄物発生量	18.6	kg/百万円	3.3	4.2	
定期購入品目割合	43.2	%	43.2	43.2	
不良率の低減	24.1	ppm	4.90	5.70	